

# MIYAKO

Vol. 17 2019 春号



地域協議会だより



平成30年11月に完成した国道340号 和井内Ⅱ区(中里~和井内清水間)

今後、押角峠やその前後の未改良区間の早期整備が望まれます

## 主な内容

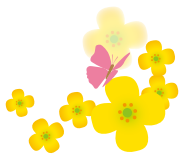
みんなの力で地域を創る

~平成30年度実施事業紹介~

平成31年度イベントカレンダー

ふるさと再発見

義経の足跡をたどる ~最終回~

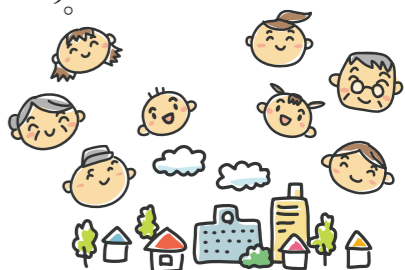


旧JR岩泉線 岩手和井内駅付近

# みんなの力で 地域を創る

平成30年度に実施された事業のうち、14事業について実施団体よりご紹介いただきます。

※その他の事業については、地域協議会だより Vol.16 (平成30年9月15日発行) に掲載しています。



## ウェルカムフラワーが迎える 街並み創出事業

昭和通りのおかみさんもてなしたい

訪れた方々へ、ウェルカムの心を伝えるため4月、6月、9月と3回にわたってハングングバスケット作りとプランターへの植え込みを行いました。

今回は、宮古第一中学校の生徒さんにも参加していただきました。小学生のときに体験した生徒さんもいて、自分たちの活動が広がってきているものと感じています。中学生には、浄土ヶ浜やフェリーターミナル、宮古駅ホームのプランターを作成していただきました。

フェリー就航や市役所の移転に向けて、皆精力的に取り組んでいただきました。

今回は、多くのボランティアの方々にも参加していただき、お花に託したウェルカムが、より一層まちを華やかに飾る活動となりました。



宮古



宮古



## 宮古港海戦の歴史を広く内外に広める事業

宮古港海戦の会

5月に浄土ヶ浜遊覧船にて船上慰霊祭を、浄土ヶ浜特設ステージにてライブを行いました。また、9月のみやこ秋まつりでは、当時を再現した衣装で、パレードに参加しました。宮古海上技術短期大学校、高校生、会員等30名以上の方に参加していただき、宮古港海戦について十分にPRすることができました。

2019年は、宮古港海戦から150周年の年になります。宮古港海戦の歴史を広めるため、秋祭りパレードへの参加、まちなか歴史館、各種学習会を開催し、「みやこ」を盛り上げていきたいと思います。



## 僕らの夏祭り

僕らの夏祭り実行委員会

8月11日、「僕らの夏祭り」を赤前地区で開催しました。今回で8回目となる夏祭りは、関東の大学生を中心とした「僕らの夏休み project」と協働で開催しています。

当日はゲストによるバンド演奏やビンゴ大会などのステージイベント、焼き鳥やアイスクリームといった出店や地元猟友会による鹿肉のお振る舞いなど、子どもから大人まで幅広い年齢層に楽しんでいただける催しを実施し、最後は参加者全員で赤前音頭を踊り、祭りを締めくくりました。

東日本大震災から8年が経過しました。「僕らの夏祭り」は、これからの震災の記憶を風化させることなく、地元コミュニティの活性化のために活動していきます。



宮古

## ピョンカフェステイバル

MIYAKO. Revolution21

1月20日に宮古市総合福祉センター健やかホールにて、「第5回ピョンカフェステイバル」を開催しました。今回は、新しく購入した紙芝居やエプロンシアターを披露しました。毎回人気のダンボール工作、手作りおもちゃコーナーでは、子どもから大人まで、夢中になって遊ぶ様子が見られました。

また、前回に引き続き、男性保育士連チーム「ファンタジスタ」の方々をお迎えして親子ふれあい遊びを行いました。親子が触れ合う貴重な時間となり、子どもたちも良い表情を見せてくれました。

今回のイベントも、中学生から大人までのボランティアの皆様、参加者の皆様の笑顔に支えられ、感謝、感謝のイベントとなりました。



宮古



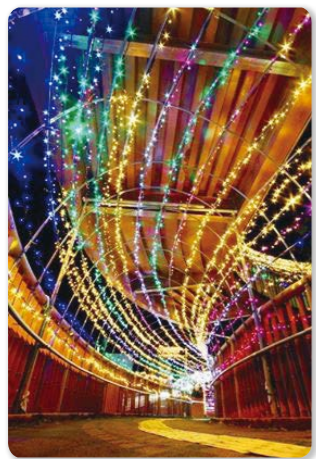
## 復興 冬のイルミネーション

宮古商工会議所青年部

今回で8回目を迎えた、旧宮古市役所前歩道橋の「復興・冬のイルミネーション」。11月23日から3月2日にかけて設置し、設営・撤収作業には約50名の方に協力いただきました。

宮古市役所庁舎移転に伴い、来場者の減少も懸念される中、少しでも多くの方にお越しいただきたいとの思いから、LEDで天使の羽根を模したオブジェを製作し、「映える」写真撮影スポットの設置や、お越しいただいた方のメッセージをステッカーにする取り組みを継続して行いました。

震災から復興へと邁進する宮古市のシンボルの一つとなるよう、これからも市民皆さんの心を明るく照らします。



## 津軽石郷土芸能保存育成事業

津軽石郷土芸能団体協議会

地域に伝わる郷土芸能の歴史や先人の想いを継承していくための活動を行っています。8月、9月には、津軽石中学校の1年生から3年生約90名を対象に郷土芸能の指導を行い、歴史を学ぶ講座を開催しました。生徒さんたちは、熱心に取り組んでくれて、郷土芸能の継承において、希望の光を感じました。

また、継承していく体制を強化するため、指導者同士の交流会を開催し、地域全体の取り組みにすべく、郷土芸能祭も開催しました。

郷土芸能は、少子化や人口減少により、伝承することが困難になってきています。地域の歴史と文化を後世に伝えていくため、これからも子どもたちが郷土芸能に触れる機会の創出に取り組んでいきます。



宮古





### 川井郷土芸能祭

#### 川井郷土芸能団体連絡協議会

「美しく、そして力強く、時を越え受け継がれる郷土の舞」をテーマとして、11月4日、宮古市立川井小学校体育館にて、第46回川井郷土芸能祭を開催しました。

川井地域から9団体、田老地域から「撰待七ツ物」にご出演いただきました。出演者は、小学校低学年児童から高齢の方々と幅広い年齢層が一緒になり、地域に受け継がれてきた郷土芸能を熱演していただきました。

後継者問題等、存続の危機にある団体もあり、各団体とも伝承に大変苦労している状況です。川井川井中学校生徒の「末角笠踊り」の発表は、岩手県中学校総合文化祭の参加を見据えた素晴らしい舞いで、来場者に感動を与えていただきました。そして、今年も、発表を通じて各保存会の郷土芸能が無事に伝承されていることが確認され、うれしく思いながら終了することができました。



### 江繋るさと再発見事業 (江繋地区収穫感謝祭)

#### 江繋地域づくり委員会

11月18日、旧江繋小学校にて、「第9回江繋地区収穫祭」を開催しました。毎年、郷土芸能や歌謡ショー、及び地元住民のご協力のもと、ふるさとの食をお振る舞いで楽しんでいただきました。当日は、川井地域の保存会による色鮮やかな出で立ちでの「田代念佛舞」「早池峰神楽」などが披露され、多くの拍手や声援をいただきました。

また、歌謡ショーでは、「昭和スターズ」による昭和時代の懐かしい歌や、「堀トオル」による演歌が披露され、飛び入りでの踊りが見られるなど、盛会のうちに終える事ができました。



### 第72回田老地区体育大会

#### 田老地区体育大会実行委員会

田老地区体育大会は、昭和21年に第1回大会が開催されてから、今回で72回目の開催となりました。10月7日、台風の影響により強風が吹き荒れる中での開催となりましたが、会場は約800人の来場者で大いに盛り上がりました。また、今年度、震災により解散していた自治会が全て再編・設立されたことから、以前のような大会の盛り上がりを再燃させるため、「チーム対抗戦」の競技を復活させました。地区自治会から8チーム、三陸沿岸道路宮古・田老工区事業者から1チーム、あわせて9チームが参加し、熱戦を繰り広げました。



### 田老地区復興まちづくり協議会

#### 田老地区復興まちづくり協議会

田老地区の地域資源を総合的に紹介するためのツールの一つとして「田老観光MAP」を作成し、市内外の主な観光関連施設に配置しました。田老地区の市街地をはじめ、ジオサイトや潮風トレイルのコースなど、田老地区のおすすめコースを載せております。その中でも、田老地区を代表する景勝・三玉岩と、悲恋正清伝説が語り継がれている真崎半島を結ぶルートは必見。付近で見ることができると、田老の味と技の数々を紹介しています。さらに、有事の際に役立つ津波避難マップも掲載しています。



### 2018オータムフェスタ in 区界高原

#### projectがま実行委員会

「区界高原」は、兜明神岳の登山、散策など、多くの人々に親しまれています。私たちは、環境整備をしながらこの地がもっとみなさんの憩いの場となるよう活動しています。「オータムフェスタin区界高原」は、この地域の魅力の発信ができる最大イベントです。特産物の販売などと共に自然散策会も併せて行っております。

また、ステイジイベントは、皆様に楽しんでもらえるよう力を入れております。今回は二代目井上成美公演（津軽三味線）で盛り上がり、地域も、訪れる人も元気になりました。



### 踊りの里OGUNI

#### 小国地区地域づくり委員会

11月11日、小国地区で恒例の踊りフェスタを開催しました。折しも国道340号立丸トンネルが、11月29日に開通することから、これを祝して唄や踊りで盛り上がりしました。あわせて小国のソウルフード「ソバキリ」などの試食や名品コンクール、写真コンクールなども行いました。また、屋内外で産直やキッチンカーでの物販があり、賑わいを見せていました。



### 閉伊川下り大会2018

#### 閉伊川遊イング事業実行委員会

自然と共生し、潤いのある地域づくりに寄与することを目的とし、地域資源である閉伊川を活用した閉伊川下り大会を9月2日に開催しました。大自然の恵みの中で開催するイベントのため、近年は、大雨による増水や台風被害等により、開催中止が続いておりました。しかし、今回は、4年ぶりに天候に恵まれ、絶好のコンディションでの開催となりました。地域の皆様からもご支援とご協力をいただき、無事に大会を終えることができました。

この大会は、2人1組で行う「一般の部」と3組がリレー方式で行う「団体の部」があります。今回は、県内外から約180名のエントリーがありました。選手は、岩や急流が混在する変化に富んだ難コースに挑み、ひたすらゴールを目指して、さわやかな水しぶきを上げていました。



### 和井内ふるさと収穫祭

#### 和井内区

11月4日、麗らかな小春日和のもと、和井内ふるさと会館において、地区民手づくりによる第17回和井内ふるさと収穫祭を開催しました。開会セレモニーに引き続き、ステージでは歌謡ショーや踊りが賑々しく繰り広げられ、早くから会場を埋めた多くの来場者にお楽しみいただきました。各テナントに並んだ餅、まんじゅう類をはじめ地元産の野菜や米、りんごなどの山の幸は、瞬く間に売り切れ、ふるさと会館内に開設したそば打ち体験コーナーや婦人会食堂での十割そばも大好評でした。恒例のお楽しみ抽選会や餅まきで、今回の収穫祭も盛会のうちに閉会となりました。

今後も、より一層の創意工夫のもと、地域の活性化のため、取り組んでいきたいと思っております。

# 宮古市地域イベントカレンダー H31.4月以降の事業紹介

平成 31 年度に予定されている地域創造基金事業を活用したイベントや行事などを紹介します。詳細は、広報みやこ等でお知らせしますので、お気軽にご参加ください。※天候などの事情により、事業の中止や日程・場所などが変更になる場合があります。

月	日 程	イベント名(事業名)	開催場所	内 容	主 催	地 域
4		ウェルカムフラワーが迎える街並み創出事業	宮古駅、駅前商店街など	ウェルカムフラワーの飾りつけ ※～ 11 月まで実施予定	昭和通りのおかみさんもてなしたい	宮古
5	6日(月)	宮古港海戦供養祭	浄土ヶ浜	宮古港海戦に関わるステージ発表や遊覧船を利用した供養を実施	宮古港海戦の会	宮古
5	19日(日)	たろう大漁まつり	田老地区イベント広場	大漁祈願の神輿や曳き舟、出店・ステージイベントなど	田老大漁まつり実行委員会	田老
6	16日(日)	閉伊川釣り大会	閉伊川本・支流道の駅「やまびこ館」	3匹計量。河川の空き缶などごみ回収が必須。	川井大自然交流実行委員会	川井
7	7日(日)	木の博物館体験	木の博物館分館 1号不伐の森(区界)	木の博物館の体験、兜明神登山体験等	川井大自然交流実行委員会	川井
7	13日(土)～15日(月)	フライフィッシング体験	川井地域の閉伊川本・支流	インストラクターや地元スタッフの指導のもと、フライフィッシングを体験する。	川井大自然交流実行委員会	川井
7	14日(日)	第 27 回「海の日」宮古港カッターレース	宮古市魚市場前	9m 艇を使った市民参加のカッターレースの開催	宮古港カッターレース実行委員会	宮古
8	2日(金)	クラシックコンサート	薬師塗漆工芸館(やまびこ産直館となり)	世界でも珍しい漆塗りのピアノ・ヴァイオリン等を使用したプロの奏者によるコンサート	宮古市で交響曲を演奏する会	宮古
8	3日(土)	サマーフェスタにいさと 2019	新里トレーニングセンター特設会場	招待郷土芸能、交流カラオケ大会、歌謡コンサート、抽選会、出店など	サマーフェスタにいさと実行委員会	新里
8	4日(日)	第 54 回「音楽の夕べ」	宮古市民文化会館大ホール	市民参加の合奏団・合唱団とプロとの共演による音楽会の開催	宮古市で交響曲を演奏する会	宮古
8	11日(日)	僕らの夏祭り	赤前コミュニティー消防センター前	子どもからお年寄りまで誰もが楽しめる夏祭りの開催	僕らの夏祭り実行委員会	宮古
8	11日(日)	僕らの夏祭り in 腹帯	旧腹帯小学校前など	自然体験チャレンジツアー、ものづくりワークショップ、盆踊りなど	腹帯夏祭り実行委員会	新里
8	11日(日)	おらほの夏まつり 2019	田老地区イベント広場	花火大会や出店、ステージイベントなど	WARADUKA	田老
8	26日(日)	クラシックコンサート	薬師塗漆工芸館(やまびこ産直館となり)	世界でも珍しい漆塗りのピアノ・ヴァイオリン等を使用したプロの奏者によるコンサート	宮古市で交響曲を演奏する会	宮古
9	1日(日)	閉伊川川下り大会 2019	閉伊川特設コース(腹帯～湯ったり館)	ゴムボートによる川下り	閉伊川遊イング事業実行委員会	新里
9	22日(日)	オータムフェスタ in 区界高原 2019	道の駅区界高原	特産品等のPR、販売	projectかどま実行委員会	川井

月	日 程	イベント名(事業名)	開催場所	内 容	主 催	地 域
10	6日(日)	川井地域大運動会	川井小学校	川井地域住民総参加の大運動会	川井地域大運動会実行委員会	川井
10	13日(日)	第73回田老地区体育大会	田老第一中学校	田老地区住民の大運動会	田老地区体育大会実行委員会	田老
11	3日(日)	川井郷土芸能祭	川井小学校	川井地域郷土芸能団体の活動成果発表	川井郷土芸能団体連絡協議会	川井
11	3日(日)	和井内ふるさと収穫祭	和井内ふるさと会館	地域農産物、餅・団子等の販売 十割そば食堂開設・そば打ち体験 ステージイベントなど	和井内区	新里
11	23日(土)～	復興 冬のイルミネーション	旧宮古市役所前歩道橋	イルミネーションの設置 ※2020年2月22日(土)まで実施予定	宮古商工会議所青年部	宮古
11	17日(日)	江繋地区収穫感謝祭	旧江繋小学校	地域の郷土芸能発表、写真・絵画コンテスト開催	江繋地域づくり委員会	川井
11	10日(日)	踊りフェスタ OGUNI2019	川井トレーニングセンター	文化活動の発表と交流・写真コンクール・産直コーナー	小国地区地域づくり委員会	川井
12	1日(日)	津軽石郷土芸能保存育成事業	津軽石公民館	郷土の歴史を学ぶ講座の開催や郷土芸能の伝承	津軽石郷土芸能団体協議会	宮古
1	19日(日)	ピヨンカフェスティバル	宮古市総合福祉センター健やかホール	手作り工作や積み木など、親子が遊べる場の提供	MIYAKO.Revolution21	宮古
	通年	宮古港海戦の歴史を広く内外に広める事業	市内各所	宮古港海戦についてのイベントや市民向け学習会を開催	宮古港海戦の会	宮古
	通年	新里地区生涯スポーツ推進事業	新里トレーニングセンター、新里生涯学習センターなど	各種スポーツ大会等を開催し、生涯スポーツを推進 ・グラウンド・ゴルフ大会 ・ソフトボールリーグ ・スポーツ・レクリエーション祭 ・ビーチボールバレー大会 ・室内グラウンド・ゴルフ大会 ・各地区体育行事開催	新里地区生涯スポーツ推進協議会	新里



ピヨンカフェスティバル



閉伊川川下り大会



復興たろう大漁まつり



木の博物館体験

# 義経の足跡をたどる

最終回

悲劇の名将、源義経は文治5年（1189）4月、兄の頼朝に追われ平泉で自刃したとされています（吾妻鏡より）。この英雄に対する哀惜の念から、義経はひそかに平泉を脱出し、北へ逃げ延びたという「義経北行伝説」が東北各地に多く残されており、宮古市内にも義経北行伝説にかかわる史跡が点在しています。これまで、新里、田老、川井地域の史跡を紹介してきましたが、最終回の今回は、宮古地域に残る史跡を紹介します。

## 宮古地域の史跡紹介

宮古第一中学校の隣にある横山八幡宮。ここは、義経主従が参詣に訪れ、宿泊した場所といわれています。随行の家臣・鈴木三郎重家は、老齢のためここに残留。名を重三郎と変えて、この八幡宮の神主になったとのこと。

黒森山を出て北に向かった義経の徳をしのび、その甲冑のうえに祠がたてられたのが、沢田地区にある判官稲荷神社。義経が祭神になっています。

義経主従は、3年3カ月に渡って黒森山に籠もって行を修め、般若経六百巻を写経して、奉納したとされています。「黒森」は、「九郎森」から転じた名であると言われています。

源氏の一族である源義里が現在の田代地区に居館（久昌寺）を構えており、義経一行が立ち寄ったと言われています。

【おわりに】

vol.14～vol.17の4回に渡って特集してきた「義経北行伝説」。

兄・頼朝のために数々の武勲をたてながら、その才ゆえに疎まれて命を狙われ、平泉にて自刃したとされている義経に残る伝説のルートをたどってみてはいかがでしょうか。

## 見るさと再る



横山八幡宮



久昌寺



黒森神社



判官稲荷神社

### 【義経略歴】

平治元年（1159）  
父・源義朝、母・常盤御前の九男として生まれる。「平治の乱」で父義朝敗死。2歳の時に父を失うが、仏門に入ることを条件に助命。牛若丸（義経の幼名）7歳の時、京都鞍馬寺に入門。

承安4年（1174）  
京都鞍馬寺を脱出。三条吉次季春（金売り吉次）に伴われて奥州藤原秀衡のもとに頼る。この時16歳前後。奥州下向の途中に元服して「源九郎義経」と名を改める。

治承元年（1180）  
兄頼朝、相模の国石橋山で拳兵。秀衡の制止を聞かず佐藤経信忠信以下手兵二十余騎を率いて参陣。黄瀬川の陣所で対面する。

元暦元年（1184）  
宇治川の戦いで木曾義仲を破る。次いで一ノ谷で平家を破る。

文治元年（1185）  
屋島の戦い、次いで壇ノ浦の戦いと連勝してついに平家を滅亡させる。

兄頼朝と不和になり、九州へ落ち延びる途中に難破して、吉野など各地に潜む。

文治3年（1187）  
奥州に下り再び藤原秀衡を頼る。

文治5年（1189）

4月29日兄頼朝の圧力を受けた藤原泰衡に攻められ自刃。  
その後、泰衡も頼朝に攻められ、藤原氏滅亡。

文治4年（1188）

実は、これより前に全てを予見していた藤原秀衡の遺言により、平泉高館をひそかに脱出して北上を続け、ついに蝦夷に渡って行ったという。

（参考資料）

義経北行伝説 生きていた源九郎判官義経 伝説義経北行コース：岩手県観光連盟